

中圧ノーブロー工法採用により施工性向上およびコストダウンを実現 中圧ノーブロー型 50A フランジバルブ取替え工法

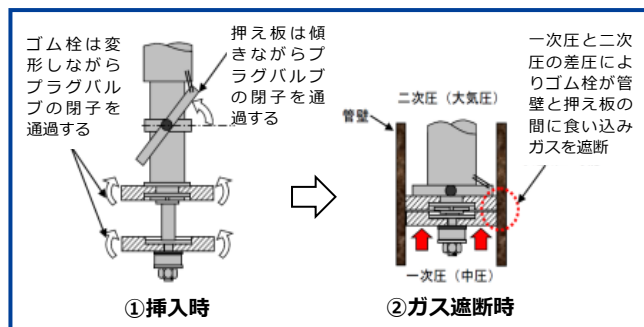
中圧路線バルブやガバナに設置されている 50A フランジバルブの取替えは、低压に減圧してから作業を行う必要があり、小規模な工事でありながら手間が掛かり、工事費が高額になる傾向にある。

本工法は、施工性の向上およびコストダウンを実現した中圧ノーブロー型 50A フランジバルブ取替え工法であり、早期保安向上に寄与します。

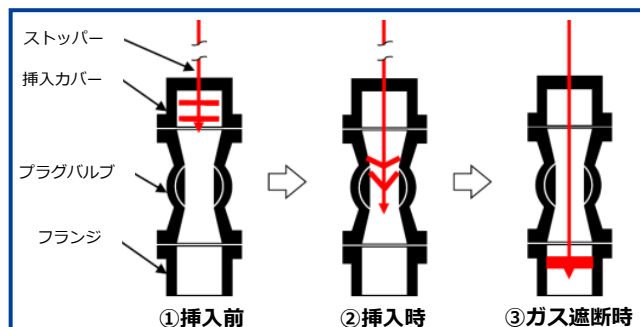


【ストッパー作動状況】

ストッパー部は、2枚のゴム栓と1枚の金属製の押え板から構成され、閉子が狭いプラグバルブにも対応できるよう、ゴム栓が変形しながら所定の位置に挿入できる構造となっており、またこのゴム板が一次圧と二次圧の差圧により気密が取れる中圧ノーブロー構造となっている。



ストッパー作動状況



ストッパー挿入状況

【適用範囲】

- ・ 圧力：中圧 A、中圧 B（減圧不要）
- ・ 口径：50A
- ・ 管種：フランジプラグバルブ
フランジボールバルブ（フルボア）



装置外観



バルブピット内施工状況

【特長】

- ・ 中圧ノーブロー工法なので減圧の必要がなく、お客さまに迷惑をかけることなく施工が可能。
- ・ 供給操作や掘削工事が不要なことから、大幅なコストダウンが可能。
- ・ 狭いバルブピット内で施工が可能（※施工条件あり）。
- ・ 施工が容易である。